臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立こども病院では、令和2年1月28日付けで倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	漏斗胸に対する胸腔鏡下胸骨挙上術(Nuss法)の長期成績の検討
研究機関名	静岡県立こども病院
研究責任者	小児外科 漆原直人
研究期間	2020年1月～2020年12月
対象者	2001年1月より2019年12月までの19年間に当院で漏斗胸に対し胸腔鏡下胸骨挙上術(Nuss法)を行った患者様
当該研究の意義・目的	漏斗胸に対する低侵襲手術として胸腔鏡下胸骨挙上術(Nuss法)が発表されて以来、我が国でも広く行われています。当院でも2001年よりNuss法を導入し、整容面で満足できる成績を得ています。 一方で近年Nuss法術後の再陥凹が報告されており、長期成績の検証が重要であるとの認識が広まっています。 本研究の目的は当院で漏斗胸に対しNuss法を施行した患者様の長期的成績を検討し、再陥凹の高リスク患者、適切な手術年齢・術式を検証することです。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録(カルテ)から次の情報を調査します。 ・背景因子(年齢、性別など) ・臨床データ(画像検査結果、病理検査結果など) ・手術内容・手術時の所見 ・転帰(再発の有無など)
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考える範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立こども病院 小児外科 三宅 啓(実務責任者) 代表 054-247-6251